

長野便教会 会報

ひとつ拾えば ひとつだけきれいになる

令和2年10月31日(土) 第98号

1 入口は違っても、出口は一緒

前号で、長野県にはお掃除を通した人間形成を追究している「自問教育の会」という会が、30年以上前から活動していることをお伝えしました。この夏に予定されていた全国大会の代替の「オンライン学習会」が、8月22日(土)にありました。今回は、そこに参加された佐久穂町立佐久穂小学校の酒井啓喜先生にご寄稿いただきました。酒井先生がお勤めの佐久穂小学校と全国大会が開催される予定だった南牧村立南牧南小学校は、長野県の中でも山梨県寄りの「南佐久郡」という同じ地域にあります。酒井先生もごく身近なところで行われている「自問教育・自問清掃」の実践に、ご自身のあり方を問い直すいい機会となったようです。

小中一貫校で、佐久穂中学校とつながる大校舎



佐久穂町立佐久穂小学校

「自問教育の会」オンライン学習会に参加して 佐久穂小学校 教諭・酒井 啓喜

8月22日(土)に「自問教育の会 第1回オンライン学習会」に参加させていただきました。太田先生から届いた「長野便教会会報97号」で紹介していただいたことがきっかけでした。新型コロナウイルスによってZOOM等を使ったWEB会議が増えてきた昨今、オンラインであれば、家にいながら学ぶ機会がもてます。長野便教会に所属しながら、ここのところご無沙汰してしまっていた私は、「これはまたとない学びの機会だ」と思い、参加したのでした。

29回目となる全国大会が、地元・南佐久で行われる予定だったこともあり、長野県の先生方が多数参加されていました。また、東京、福岡、宮崎、新潟、大坂、山口と他県からの参加者もおいでで、全部で35名の先生方が集まり、その裾野の広さを感じました。

実践発表は、南牧村立南牧南小学校の新津由紀先生と同僚の先生方の「チーム南牧南」から「久しぶりの異動で感じたこと～学校全体で自問清掃を立ち上げるまで～」というものでした。「自問清掃」に出会い研鑽を積まれた新津先生が、異動先の学校で全校での「自問清掃」を立ち上げ、子どもたちと取り組みながら、子どもたちと向き合い悩まれる若手の先生方を支え、励まされてきた等身大の実践の報告でした。若手の先生方の鋭い感性と、その先生の気持ちを大切に認めながら温かく励まされる新津先生のアプローチに「素敵な職員集団だなあ」と感じました。

そもそも自問清掃とはどのようなものなのかよく知らなかった私は、今回の先生方のお話から初めのうちは「どうやら自問ノートを書くようだぞ」「掃除をやらないという選択肢もあるらしい」「がまん玉・しんせつ玉・みつげ玉を磨くと指導するみたいだ」と断片的にハウツーの枠でとらえようとしていました。

しかし、先生方の話をうかがったり、その後注文した『子どもが輝く「魔法の掃除」』、『魔法の掃除13カ月』(いずれも、平田治先生著・三五館)を読んだりしていくうちに、この自問清掃とは、教師の子どもを信じ切る心によって、子どもの内発的な動機を引き出すという考え方が根底にあるのだということが少しずつ分かってきました。子どもを支え、成長を認め励ます「伴走者」のようなスタンス。そんなイメージがおぼろげながら見えてきたのです。

その一方で、これまでの掃除の時間の私はと言えば、ホウキを手に持って子どもを裁く「裁判長」のような見方をしていたように思います。「ただ身を低くして、実践あるのみ」と便教会で学んだはずなのに、いつの間にか「これではいけない、子どもを掃除に向かわせなくては」「私が思うように子どもたちをコントロールしなくては」と思う焦りが、傲慢さとなって頭をもたげてしまうのでした。

私の勤務する佐久穂小学校の校舎は、佐久穂中学校の校舎とつながっています。伝統の「三昧清掃」に黙々と取り組む中学生と一緒に掃除ができる幸せな環境にあります。しかし、黙々とお掃除に向かう中学生のすぐ隣で、それを気にもとめずに私語をして、清掃や自分と向き合うことができない小学生たちの姿があります。そうした場面では、「それは三昧清掃の一番下の「逃避」だ!」と怒っていた昨年度の私が、フラッシュバックしてきました。そんなふうにご子どもをカテゴライズするのではなく、「なぜ、もっと子どもの気づきを認め、感動し、共に歩まなかったのか…」と、今回のオンラインで先生方のお話を聞きながら、自身をふり返りました。

長野便教会がまだなかったころ「自問教育の会」に参加され、子どもたちと一緒に「鍵山掃除道」を実践してみたことを発表された太田先生が、当時の会の参加者の方に「この掃除は、

我々と入口は違うけれど、出口は一緒だ」と言われたと、会報の97号に書かれていました。
私もどちらの会にも参加してみると、求めている姿はあまり変わりがないのではないかと感じました。私が便教会に初めて参加したのは、9年前の「北佐久農業高校掃除に学ぶ会」でした。水こしを無心で磨き、ピカピカになった時の清々しい爽快感。その時の感激は、今でも忘れられません。その後「小布施掃除に学ぶ会」の年次大会に参加した時には、鍵山相談役から直々に「お掃除になかなか向き合えない子に、教室のドアを外すお手伝いを頼むといいですよ。ドアの下の溝。これをその子と一緒にピカピカに磨くんです」と教えていただいた事もありました。私はこの会でお掃除をする中で、お掃除のノウハウやハウツー以上に、子どもとの向き合い方、授業の準備の仕方、家族を大切にするための時間の使い方等々、多く気づきを得てきました。この会の名称が「掃除に学ぶ会」であって、「掃除に学ぶ会」ではないのは、そういう意味だと思っています。便器や床など、お掃除をする対象と向き合っているうちに、自らに問いかけ、自らを省察することができます。掃除の時間は、そうやって自分を見つめ、生き方を学んでいく学びの場であり、貴重な時間なのだと思います。だからこそ大切にしたいし、子どもたちにもそうして自分で自分自身を高めていってほしいということですよ。

『魔法の掃除』の中には、次のようなことも書いてありました。

ほめようとしなくて、感動を伝えよう。
叱らないけれど、決して譲らない。
比べないけれど、学び合おう。

今年度は、2年生の担任をさせていただいています。とても素敵な子たちで、一緒に黙々と床を磨くのが毎日の幸せな時間です。「こんな所の汚れにも気づいて、きれいにしているんだね。すごいね。」と、子どもたちの素晴らしさにハッとさせられ、学級通信に子どもたちが掃除を頑張る写真を載せ続けています。しかし、最近気が付いたことがあります。私がいけない時には、どうも気がゆるむことがあるようです。まだ2年生、一生懸命に掃除をやるのは、私に認めて欲しいという気持ちが掃除の動機付けとして大きいのかもかもしれません。そして、一生懸命褒めていた私の関わりは、担任不在で褒められない状況下においては、子どものやる気を低下させることにつながったのではないかと反省させられました。

「ほめようとしなくて、感動を伝える」

2年生であろうと「自ら掃除と向き合う心」を磨くことができないはずはありません。そのためには、子どもとともに身を低くし、凡事徹底で実践あるのみ。そして子どもを信じ抜き、伴走者のように感動を伝え続ける。入口は違えども、出口は同じ。まだまだ学びが浅い私ですが、これからも「長野便教会」と「自問教育の会」との両方から多くを学び、実践者としての自分を磨いていきたいと思えます。

お掃除を通して子どもたちを育てるとともに、自分のあり方を問い直し、もっと自分に磨きかけたい。さらに自分を高めたい。その思いは「便教会」も「自問教育の会」も同じはずです。「自問教育の会」の2回目のオンライン学習会が、11月7日(土)に開催されます。前回参加できなかった皆さまも、ぜひご参加ください。きっと大きな学びを得られることと思います。

2 お知らせ

○小布施掃除に学ぶ会・月例会→毎月第2日曜朝6時～8時30分(5:45にはご集合ください)

11月は14日、栗ガ丘小学校です。12月は12日、会場未定です。

○第2回自問教育オンライン学習会→令和2年11月7日(土)午前9時～11時30分

詳しくは、自問教育の会のHP <http://jimon.3zoku.com/> をご覧ください。

例年ならば6月に開催するはずだった本校の運動会ですが、今年は10月3日に延期されて行われました。私は本校に赴任して以来、地域の皆さまが集まる運動会の前や、夏休みが明けて子どもたちの登校が始まる2学期直前には、通学路にもなっている校庭前の歩道の草取りをしてきました。

この歩道は、学校の敷地内ではありません。しかし、学校側についている片側の歩道で主に小学生が歩く道です。地域の方の高齢化も進み、なかなか手がまわらない様子で、私が赴任した5年前は草が伸び放題になっていたのです。鍵山相談役は、こうした「誰の仕事でもない仕事を、私の仕事にすることが大切です」とおっしゃいます。そこで、私がやらせていただくことにしました。当初は、「どこの誰が草取りをしているのか」と怪訝な顔をされていた地域の方がほとんどでしたが、そのうちに「南小の先生かい？」と声をかけていただくようになり、次第に「いつもごころうさま」「きれいにしてもらってありがとう」という言葉をいただいただけになりました。そして今年はずいに「先生、この先は昨日オレがやっておいたで(伊つおれおの旨)」と言っただけになりました。

この地域の将来を担う子どもたちを立派に育てたい。その思いは、我々学校も地域の方も同じはずです。5年前は、こんな日が来るとは思いませんでした。本当にうれしく、涙が出る思いでした。

〒383-0021 中野市西2-9-2 長野便教会事務局・太田 智明(山ノ内町立南小学校教諭)
携帯電話・090-2238-2934 Eメール・otato2005@yahoo.co.jp
小布施掃除に学ぶ会HP・<http://obuse-souji.com/>